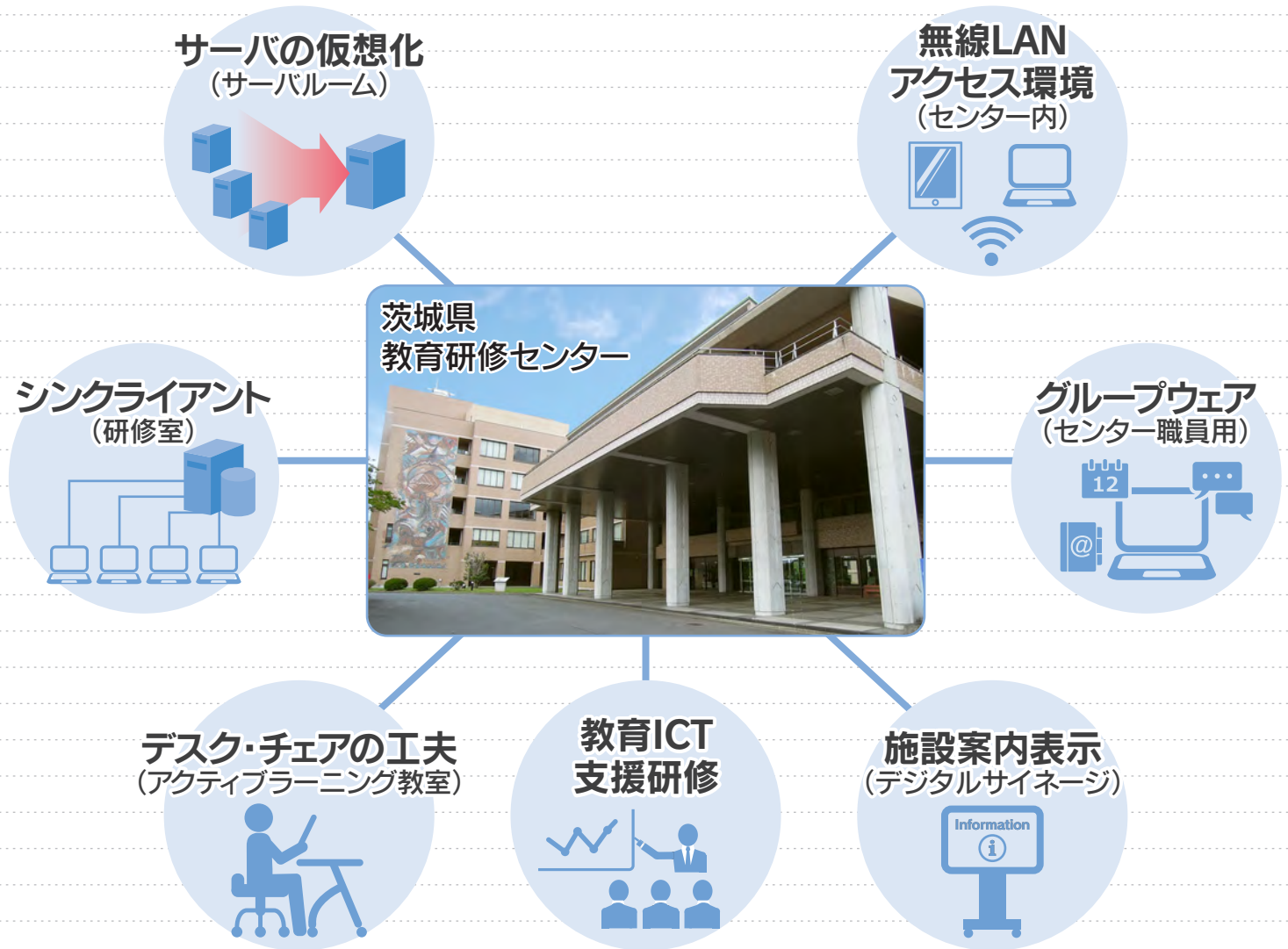


茨城県教育の充実を図り、教育ICT導入の取り組み

茨城県教育研修センター 様

導入ソリューション



茨城県教育研修センター 概要

設 立: 昭和37年6月
 所 在 地: 〒309-1722 茨城県笠間市平町1410
 事業内容: ・研修に関する事業
 ・教育研究に関する事業
 ・校内研修支援に関する事業
 ・教育相談に関する事業
 ・社会体育・スポーツに関する事業
 ・教育資料・情報の収集及び提供に関する事業

施設面積: 107,490m² 建築面積: 17,544m²

施 設: ・管理研修棟…研修室, 図書情報室, 情報教育研修室, 教育相談室, 理科実験室, 家庭科実習室,
 天体観測室, プラネタリウム室, 茨城県教育用ソフトウェアライブラリセンター
 ・特別支援教育棟…研修室, 検査室, 相談室
 ・大 研 修 棟…大研修室
 ・体育科学棟…アリーナ, トレーニング室, 測定室
 ・宿泊食堂棟…宿泊室, 食堂

ホームページ: <http://www.center.ibk.ed.jp/>



サーバの仮想化

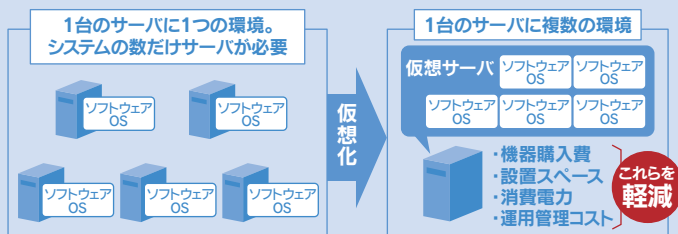
導入の効果

物理サーバを減らして、クラウド化を目指す

茨城県では、オンプレミスよりも運用管理のコストや負担が軽減できるクラウド化が推奨されており、物理サーバの台数を減らしていく方向へ向かっています。そのため、初期投資が比較的少なく、拡張性に優れた仮想サーバを導入することで、クラウドへの移行もスムーズになりました。

仮想サーバのメリット

仮想化とは、1台のサーバで1システムが稼働している環境から、1台のサーバで複数のシステムを稼働させる技術です。サーバ台数を物理的に削減することで、消費電力やシステム運用管理のコスト削減につながります。また、始めから大規模なサーバを購入しなくても、必要に応じてサーバを増設できます。



シンクライアントの導入

導入の効果

頻繁なソフトのバージョンアップがラクに

研修センターでは様々な教材ソフトを使用しています。これらは頻繁にバージョンアップされ、以前は90台あるクライアントPC (学習用端末) 1台ずつにバージョンアップ作業を行っていました。それがシンクライアントを導入してからはバージョンアップは、クライアントPCではなく、サーバで一元管理できるようになりました。

シンクライアントのメリット

端末のHDDを利用しないため故障の頻度が激減します。また、データをローカルHDDに保持しないため、端末からの情報漏えいを防止します。このほか、端末で設定変更などを行っても、再起動すればいつでもクリーンな状態に復元し、運用管理の手間とコストを削減します。

シンクライアントサーバ



無線LANアクセス環境の構築

導入の効果 安全にアクセスできる環境整備

止まらないネットワーク環境を目指し、主要ネットワーク機器は2台以上で構成しました。障害発生時には迅速に対応ができるようネットワーク全体を一括で監視し、高いセキュリティと速い通信速度を保っています。無線LANネットワークへの接続はシステムで制御し、全体のパフォーマンスを最適にします。

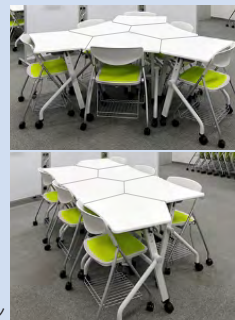


アクティブラーニング教室

導入の効果 グループ学習に効果を発揮

ホームベース型可動デスクは、自在に組み合わせることができて便利です。通常の机よりコンパクトサイズで、グループワークの際には互いの距離が近いいため意見が出やすくなります。またタブレットなどの操作も、互いの手元が見えるので声をかけ合い、コミュニケーションの活性化につながっています。

協力：(株)ガイアエデュケーション



施設案内表示(デジタルサイネージ)

導入の効果 グループウェアと連動し、施設の案内を自動で表示

研修センター内の施設予約をサイボウズ(グループウェア)で管理し、デジタルサイネージ『NIXUS VISION』に連動して自動表示しています。サイネージには講座名と教室、受付場所が表示され、綺麗で見やすいと好評です。

